2012 年 3 月 5 日

上田市の交流・文化施設の（市民会館と美術館、交流芝生広場）整備に関するアンケート調査

報告書

1　アンケート調査の目的

2　アンケート調査の方法等

3　アンケート調査結果の概要Ⅰ（回答の特徴）

4　アンケート調査結果の概要Ⅱ（質問別）

上田市議会議員　　久保田由夫

℡0268（42）6361　fax１　0268（42）5630　fax２　0268（44）2629

Ｈ　Ｐ　　http://www.ued.janis.or.jp/~kubota55/

ブログ　　http://blogs.yahoo.co.jp/matigumi55

１　アンケート調査の目的

上田市では平成 19 年 1 月に母袋創一市長が「交流・文化施設を約 150 億円規模で建設する構想」を打ち出しました。予算規模が市の年間予算の約四分の一弱にあたる 150 億円という大規模な公共事業であり、これまで市議会はもとより、市民サイドからも様々な議論が進められてきました。

交流・文化施設の現時点での計画は、規模で約 130 億円、建設予定地は JT 開発地（アリオ上田店隣接地）、平成 26 年秋に開館予定です。

「50 年に一度といわれる大事業にあたり、計画概要が示されたのちに市民の意向調査を行うべき」と考え、市当局に要求してきましたが、実現しなかったために今回のアンケート調査を実施することとしました。（アンケート依頼文の抜粋）

２　アンケート調査の方法等

◇調査の設計

▽調査対象　　上田市内に住所のある 20 歳以上の男女 1328 人

▽抽出方法　　上田市選挙管理委員会において、2011 年 9 月 1 日時点で作成された選挙人名簿を閲覧することにより、合併前の市町村毎におおむね 1 %を無作為で抽出し、アンケートを依頼しました。

▽調査時期　　2011 年 12 月 1 日～2011 年 12 月 31 日

▽調査方法　　郵送（同封したものは、アンケートへの協力のお願い、交流・文化施設の基本設計案･広報うえだ No127 の 4 ページから 11 ページまでのコピー、アンケート用紙）

◇回答の結果

▽有効回答数　　341 人（回答率 25.6%＝男性 161 人　女性 180 人）

※調査結果の概要では、パーセント数字は小数点以下四捨五入しています。

3　アンケート調査結果の概要Ⅰ（回答の特徴）

◇武石地区以外は、25%以上（4 人に 1 人）の有効回答

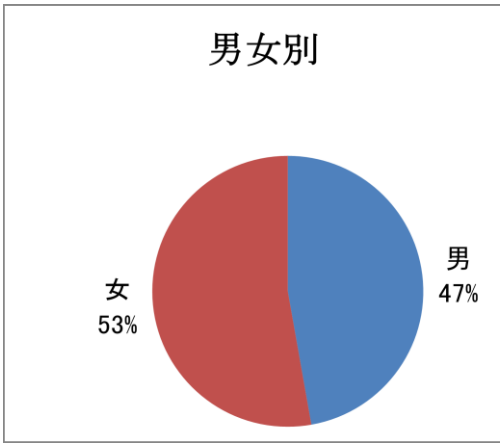
地区別に上田地区は 25.5%、丸子地区は 25.8%、真田地区は 29.5%となり、武石地区が 18.1% とやや少なかった。

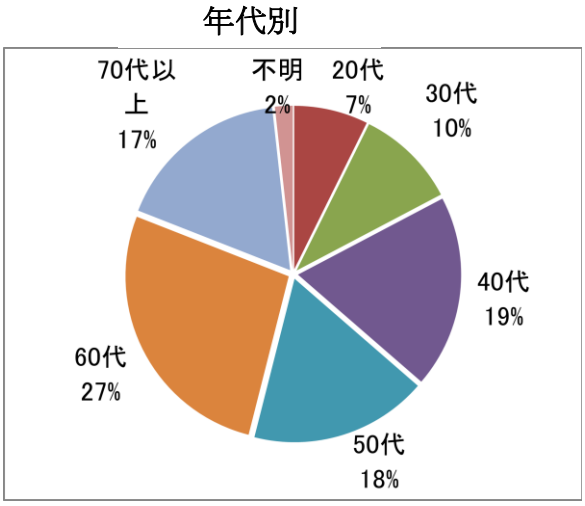
アンケート調査数および回答数

	調査数	回答数	%
上田地域	1033	264	25.5
丸子地域	174	45	25.8
真田地域	88	26	29.5
武石地域	33	6	18.1
合計	1328	341	25.6

◇すべての年代から回答

政治に関心が少ないとされる 20 代（7%・25 人）を含めて、すべての年代から回答がありました。なお、男女別では、男性 47%、女性 53%でした。





問２．年代	
20 代	25
30 代	34
40 代	65
50 代	60
60 代	92
7 代以上	59
不明	6

問１．性別	
男	161
女	180

◇回答の「ご意見・ご要望」に 200 人以上、約 6 割の人が記入

アンケートの裏面の「交流・文化施設（市民会館と美術館、交流芝生広場）の整備に関して、ご意見・ご要望をお書きください。」に、回答数の 6 割の方に記入していただきました。

意見と要望欄には、たくさんの思いが記されていました。

整備に賛成意見は 86、変更して整備するは 50、反対は 61、わからない・その他は 11 でした。

それぞれ貴重な意見として、受けとめています。

地域別	計画通り	変更して	反対	わからない	合計
上田地域	75	42	44	8	169
丸子地域	8	4	11	3	26
真田地域	2	3	5		10
武石地域	1	1	1		3
合計	86	50	61	11	208

3　アンケート調査結果の概要Ⅱ（質問別）

「計画通り整備する」が 38%で過半数にはならず（問３）

問３の「あなたは、交流・文化施設（市民会館と美術館、交流芝生広場）の整備について、どのようにお考えですか」では、

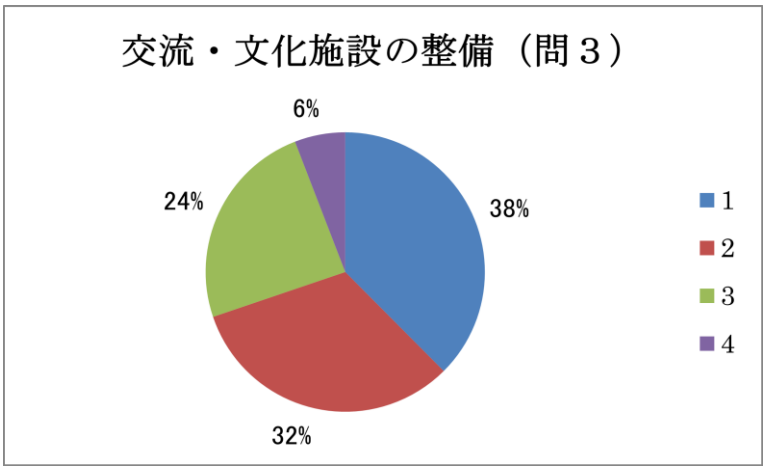
1 計画通り整備する（38%）

2 計画を変更して整備する（32%）

3 整備計画に反対（24%）

4 わからない（6%）となった。

「計画通り整備する」は、38%で過半数にはならなかった。

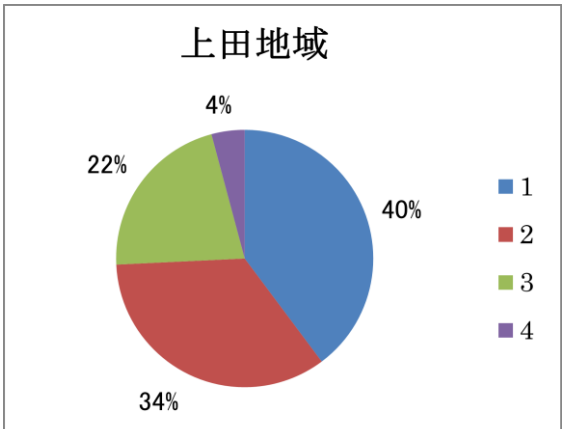


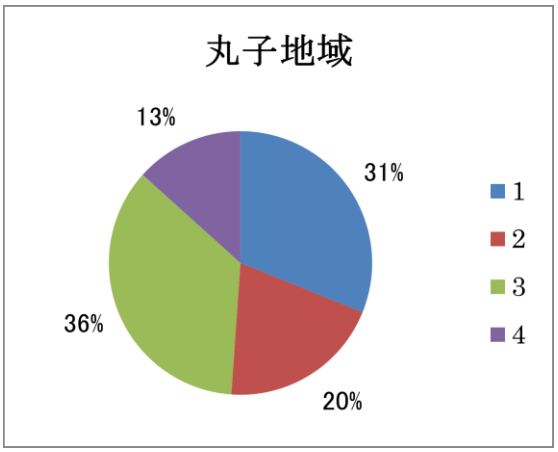
問３				
	①	②	③	④
上田	105	91	57	11
丸子	14	9	16	6
真田	7	7	9	3
武石	2	3	1	0
合計	128	110	83	20

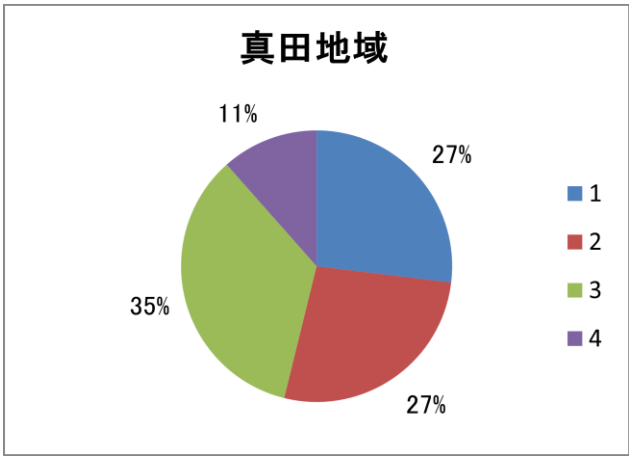
丸子地域と真田地域は「反対」が「計画どおり」を上回る（問３）

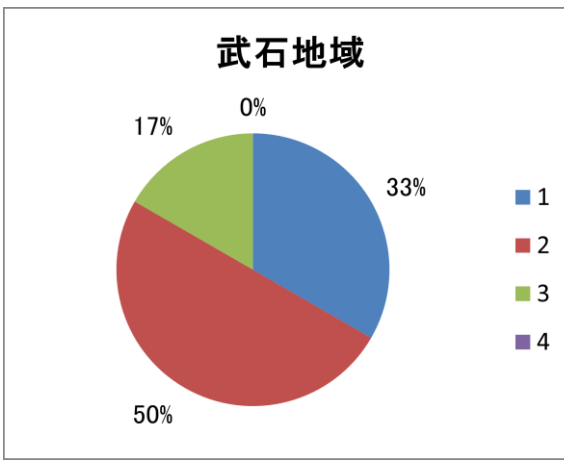
地域別にみると、上田地域は、計画どおりが 40%、反対が 22%と大きく上回っているが、丸子地域では、計画どおりが 31%に対して反対が 36%と上回り、真田地域でも 27%に対して 35%と上回った。

合併した周辺地域の理解が少ないことが裏づけられた。市民合意を進める上での上田市の対応が求められる。なお、武石地域は、サンプル数が少ないので、分析からは除外した。





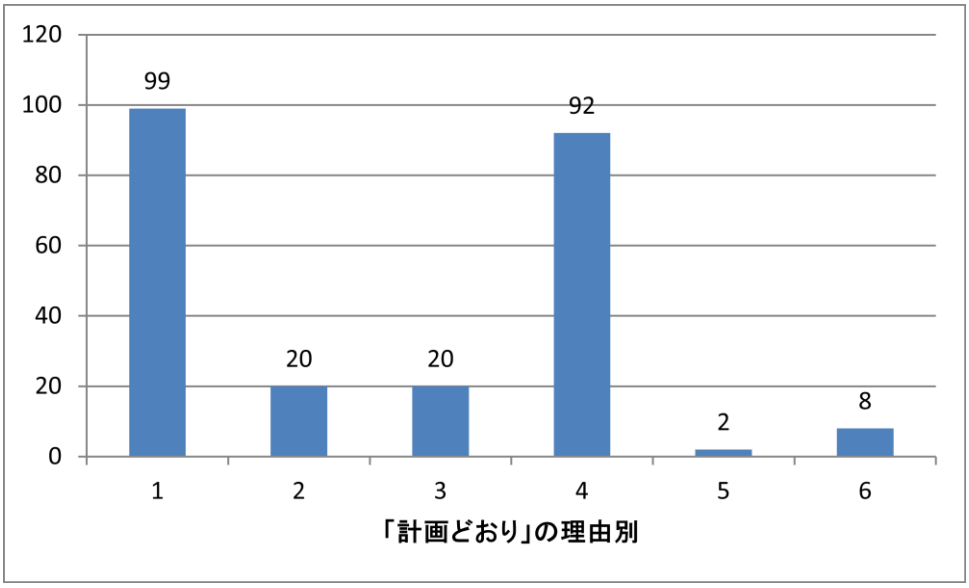




「市民会館の建て替えは必要」と「計画通り市民会館、美術館、交流芝生広場が必要」が大きな理由（問４）

問４で「計画通り整備する」を選んだ理由」の回答では、「市民会館の建て替えは必要」と「計画通り市民会館、美術館、交流芝生広場が必要」が他を大きく引き離した。

＜問４の選択肢＞
1　市民会館の建て替えは必要
2　展覧会ができる美術館がほしい
3　広い芝生広場がほしい
4　計画通り市民会館、美術館、交流芝生広場が必要
5　市長の選挙公約だから
6　その他

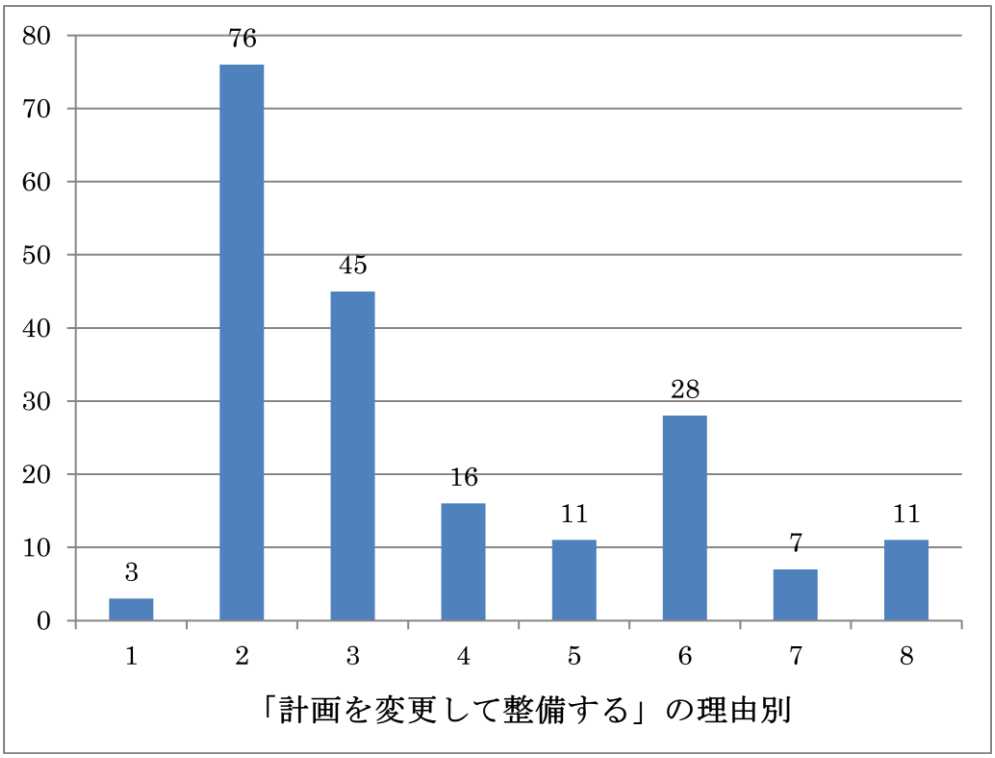


「事業費（130 億円）をできるだけ減らすべき」がトップ（問５）

問５の「計画を変更して整備する」を選んだ理由」では、「事業費（130 億円）をできるだけ減らすべき」がトップで次に「美術館はいらない」が続いた。今回の整備計画が「市民会館、美術館、交流芝生広場」の三点セットの計画なので、事業規模は大きくふくれたことに対する心配の意向がしめされた。

＜問５の選択肢＞

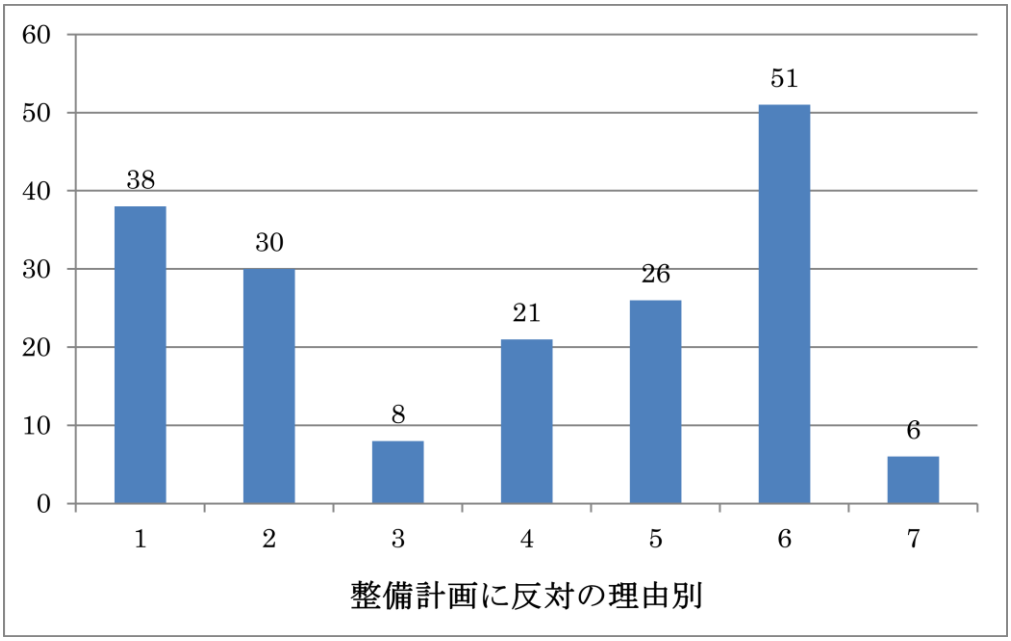
1　事業費（130 億円）をもっとふやすべき
2　事業費（130 億円）をできるだけ減らすべき
3　美術館はいらない
4　交流芝生広場はいらない
5　市民会館は改修して利用し、美術館と交流芝生広場をつくる
6　国や上田市の経済状況、財政状況をみきわめて、建設時期を遅らせる
7　合併特例債（有利な借金とされる）の期限が 5 年間延長されるので、建設時期を遅らせる
8　国や上田市の経済状況、財政状況がよくなるまで、建設を一時凍結する



「反対」の理由のトップは「多額の維持費がかかり毎年の負担が大きい」（問６）

反対の理由では、「多額の維持費がかかり毎年の負担が大きい」が一番多く、次に「これ以上、国も地方も借金をふやすべきでない」「他にやってもらいたいことがある」が続いた。

これは、「多額の建設費がかかる」への不安よりも「多額の維持費がかかり毎年の負担が大きい」ことへの不安が大きいことを示している。記述式のアンケートにもあるように、市政への切実な要望が後回しになるか、しわ寄せとなる不安がある。

＜問６の選択肢＞

1　これ以上、国も地方も借金をふやすべきでない
2　他にやってもらいたいことがある
3　遠くて利用できない
4　多額の建設費がかかる
5　市民合意がはかられていない
6　多額の維持費がかかり毎年の負担が大きい
7　その他